

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	急性虚血性脳卒中術前造影 CT における頭頸部 CTA の造影剤減量に関する工夫 [倫理審査受付番号：第 5040 号]
研究責任者氏名	源 貴裕
研究機関長名	兵庫医科大学学長 鈴木敬一郎
研究期間	2025 年 5 月 28 日 ~ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者様を研究対象とします。
	2024 年 9 月 1 日～2025 年 4 月 30 日の期間で、急性虚血性脳卒中疑いで造影 CT 検査を施行された患者様
	西暦 2024 年 9 月 1 日 ~ 2025 年 4 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報（通常診療で取得） ☐ アンケート ☒ その他（通常診療で撮影された CT 画像）
研究目的・意義	研究の目的 急性虚血性脳卒中に対する術前画像診断において、CT アンギオグラフィー（CTA）に用いる造影剤投与法を最適化し、画像診断に必要な画質を維持したまま造影剤使用量を低減できるかどうかを検証することです。 研究意義 急性期脳卒中患者様では、診断や治療計画において複数の造影検査を要することが多く、さらに術中（機械的血栓回収術）にも造影剤を使用するため、造影剤使用量の増加が腎機能障害のリスクを高める可能性があります。本研究により、CTA における造影剤使用量を安全に低減できれば、患者様の負担軽減や安全性向上につながるとともに、より効率的な診療プロトコルの確立が期待されます。また、ソフトウェアによる解析の精度向上とあわせて、MRI をスキップし造影 CT 単独での総合的な評価が可能となれば、撮影回数の削減や医療資源の最適化にも貢献します。

研究の方法	急性虚血性脳卒中疑いで造影 CT 検査を施行された患者様を対象とします。我々が考案した「短時間急速注入法(造影剤は注入速度を高めることで造影効果を高めることができるため、頭頸部の循環動態に合わせて急速注入を行う方法)」によって閉塞血管評価のための CTA を撮影した群と、従来より兵庫医科大学病院で撮影してきた方法「従来法(25mgI/kg/s の速度で 16 秒間注入する方法)」によって CTA を撮影した群の CT 画像を使用します。血管の CT 値を計測・比較します。また、使用した造影剤量についても比較します。「短時間急速注入法」と「従来法」の選択は患者様の状態(腎機能等を考慮)に合わせて現場で判断しています。本研究では、画像データおよび両群の患者様の特性(体重、腎機能情報)について、電子カルテおよび放射線情報システムより記録します。 これらのデータについて、統計解析を行って「短時間急速注入法」の効果を検証します。
個人情報の取扱い	画像データを取得・再構成する際には、対象者情報に個人認識番号を付し、個人認識番号の対応表を作成し加工を行います。 国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：放射線技術部 研究責任者：源貴裕 実務責任者：桐木雅人 [電話] (平日 8 時 30 分～16 時 45 分) 0798 - 45 - 6259 (上記時間以外) 0798 - 45 - 6126